

わけぎの需給動向



わけぎ



主要産地



資料：農林水産省「地域特産野菜生産状況調査（令和2年産）」

注：図中の番号は収穫量の多い順番、期間は主な出荷期間を表している。

わけぎ（分葱）は、ヒガンバナ科ネギ属の多年草の野菜で、「ねぎ」とたまねぎの仲間の「シャロット」との雑種である。枝分かれして育つことから、「分け葱（わけぎ）」となった。寒さに弱いため、主に西日本の暖かい地域で栽培されている。柔らかく、

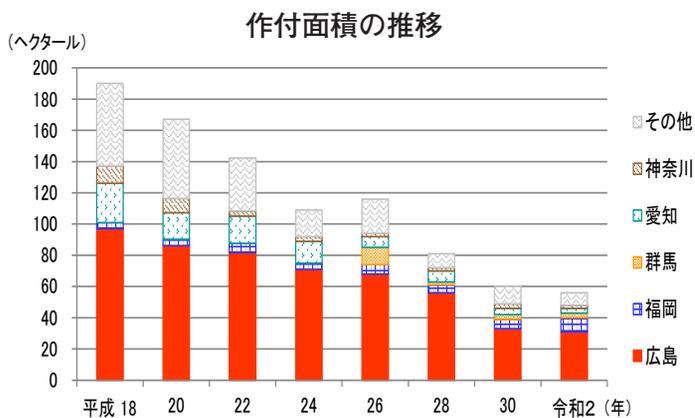
独特の甘みを持つ。ねぎと違い、種を播くのではなく種球を植え付けて株分かれして増えることから、子孫繁栄の縁起物の野菜ともされている。βカロテンが豊富で、ビタミンC、E、食物繊維も含む。

作付面積・出荷量・単収の推移

令和2年の作付面積は、56ヘクタール（前年比93.3%）と、前年よりかなりの程度減少した。

上位5県では、

- ・広島県 31ヘクタール（同 93.9%）
 - ・福岡県 9ヘクタール（同 150.0%）
 - ・群馬県 3ヘクタール（同 100.0%）
 - ・愛知県 3ヘクタール（同 75.0%）
 - ・神奈川県 2ヘクタール（同 66.7%）
- となっている。

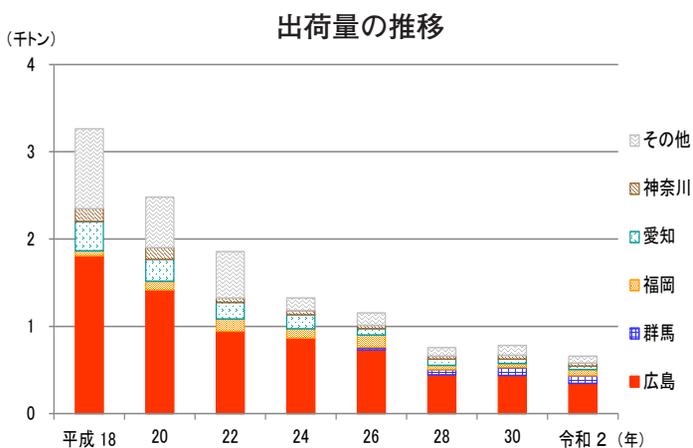


資料：農林水産省「地域特産野菜生産状況調査（令和2年産）」

令和2年の出荷量は、658トン（前年比84.3%）と、前年よりかなり大きく減少した。

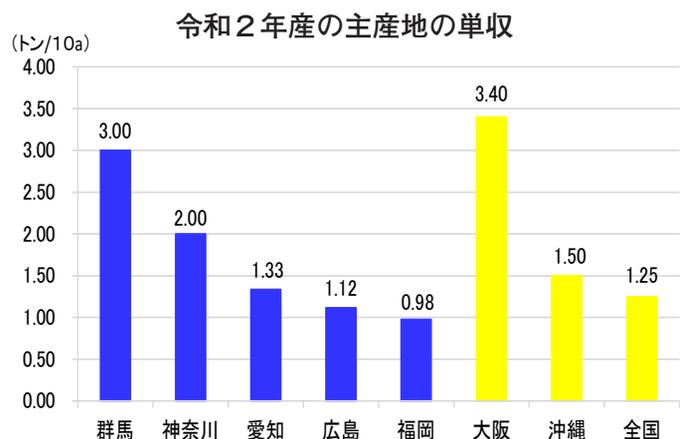
上位5府県では、

- ・広島県 345トン（同 78.8%）
 - ・群馬県 90トン（同 100.0%）
 - ・福岡県 70トン（同 145.8%）
 - ・愛知県 39トン（同 81.3%）
 - ・神奈川県 36トン（同 80.0%）
- となっている。



資料：農林水産省「地域特産野菜生産状況調査（令和2年産）」

出荷量上位5県について、10アール当たりの収量を見ると、群馬県の3.00トンが最も多く、次いで神奈川県は2.00トン、愛知県の1.33トンと続いている。その他の府県で多いのは、大阪府の3.40トン、沖縄県の1.50トンであり、全国平均は1.25トンとなっている。



資料：農林水産省「地域特産野菜生産状況調査（令和2年産）」

注：黄色は、出荷量上位5県以外で単収が多い2府県および全国平均。

作付けされている主な品種等

広島県で栽培される品種は、わけぎ農家の自家採種を中心に選抜され継承されてきたものであり、門外不出とされている。周

年栽培の実現のため、さまざまな作型に対応できるように多様化してきた経緯がある。

都道府県名	主な品種
広島県	広島（1号、2号、3号、5号、7号、11号、12号、13号）、宜野座
福岡県	木原晩生、下関系統、奄美、博多、宮崎、玄海
群馬県	白小玉、紫大玉
神奈川県	在来種

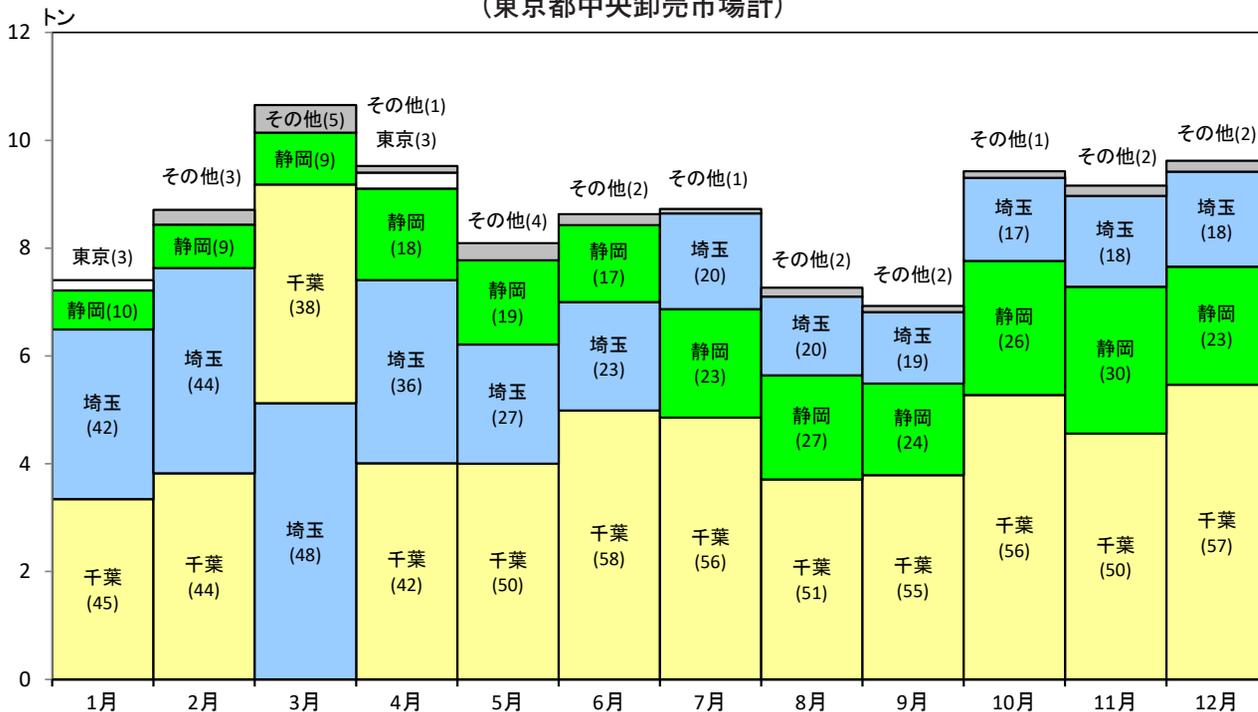
資料：関係者聞き取りにより農畜産業振興機構作成

東京都・大阪中央卸売市場における月別県別入荷実績

東京都中央卸売市場では、わけぎの分類の中にわけねぎなどを含んでいる。関東産は大部分がわけねぎである。その月別入荷実績(令

和3年)を見ると、千葉県、埼玉県、静岡県を中心に通年、安定した数量が入荷している。

令和3年 わけぎの月別入荷実績
(東京都中央卸売市場計)



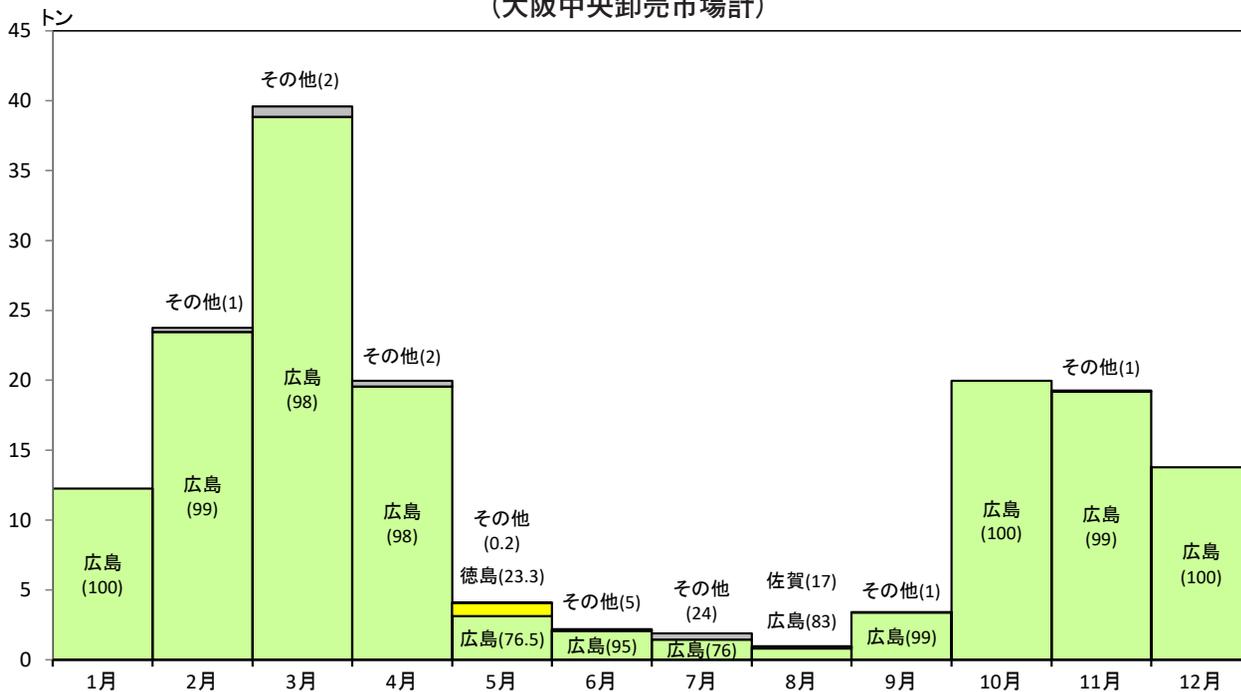
資料：農畜産業振興機構「ベジ探」（原資料：令和3年東京都中央卸売市場年報）

注：（）内の数値は、月別入荷量全体に占める割合（%）である。

大阪中央卸売市場の月別入荷実績（令和3年）を見ると、わけぎのぬた和えを食べる習慣のあるひな祭り需要に向けた2月、3月がピークとなる。4月以降は減少し、7～8月

の夏場に底となり、9月に増加に転じ冬に向けて多くなる。産地はそのほとんどが広島県である。

令和3年 わけぎの月別入荷実績
(大阪中央卸売市場計)



資料：農畜産業振興機構「ベジ探」（原資料：令和3年大阪市・大阪府中央卸売市場年報）
注：（）内の数値は、月別入荷量全体に占める割合（%）である。

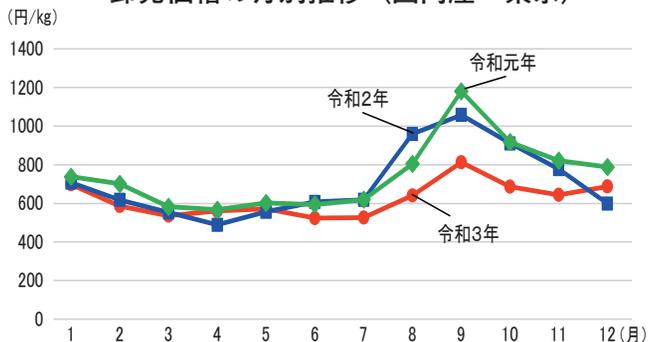
東京都中央卸売市場および大阪市・大阪府中央卸売市場における価格の推移

東京都中央卸売市場におけるわけぎの価格（令和3年）は、1キログラム当たり524～813円（年平均623円）の幅で推移している。秋口から年明けにかけて上昇傾向にあり、その後春先に緩やかに下降するが、周年安定した出荷量であるため、夏ま

で価格に大きな動きはない。

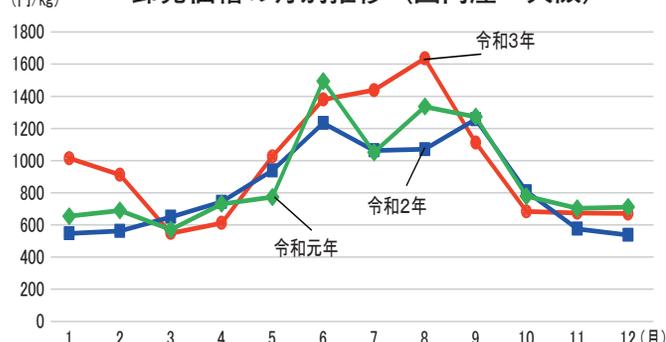
大阪中央卸売市場におけるわけぎの価格（令和3年）は、1キログラム当たり549～1635円（年平均976円）の幅で推移している。入荷量が減る5月から夏場に高値となる傾向にある。

卸売価格の月別推移（国内産：東京）



資料：農畜産業振興機構「ベジ探」（原資料：東京都中央卸売市場「市場月報」）

卸売価格の月別推移（国内産：大阪）



資料：農畜産業振興機構「ベジ探」（原資料：大阪府中央卸売市場「市場月報」）